

**市中体連大会に参加して
(感じたことや学んだこと)**

6月3日(木)、学年集会で、市中体連大会に参加した生徒達に、大会に参加して感じたことや学んだことなどを発表してもらい、全員で学び合いました。



○石川 琉也くん(2の2):【野球部】

先輩達の試合を見て感じたことが2つあります。1つ目は声です。1日目と2日目の試合は声でも勝っていました。しかし決勝戦の相手、明健中の声は、中体連で戦ったどのチームの声のボリュームを遥かに超えていました。その時僕は、声だけでもこの威圧感は半端ないなと思いました。2つ目はあきらめない気持ちです。決勝の時、1回表に明健中が2点を取ったとき、僕は圧倒されて声が一切出ずに負けた感じになっていました。しかし壺太郎先輩は、下を向かず一人でも声をずっと出していました。それを見て僕は、自分もあきらめずに最後まで声を出そうと決めました。途中追いついたりしましたが、最後は負けてしまいました。でも僕は自分にできることを最後までできたのでよい経験ができたと思いました。

○下重 心杜くん(2の3):【サッカー部】

今大会に出場して学んだことはチームワークの大切さです。サッカーは個人競技ではないので1人みんながみんなを助け合わないといけません。これは日常生活でも同じだということも気がつきました。また、先輩の大切さも感じました。特に部長はみんなのことをまとめなければいけないので、この市中体連大会の先輩達の姿から学んだことを今後に生かしていきたいです。3年生はもう引退をしてしまうので、部をまとめるのは2年生です。先輩方のよさを引継ぎ、よいサッカー部を作っていけたらと思いました。

○阿部 蒼太くん(2の4):【男子ソフトテニス部】

あきらめないことの大切さを改めて感じました。団体戦の時には、最初はどんなボールが返っても追いかけていましたが、だんだんと追いかけることをあきらめてしまうことができました。結果は、0対3で負けてしまいました。しかし2日目の個人戦では、手前のボールでもギリギリまで追いかけることができました。結果は3対0で勝ちました。これから新人戦もあるのでどんなピンチでも最後まであきらめずに試合をしようと思いました。

○根本 大輝くん(2の4):【男子バスケットボール部】

初戦、郡山一中と当たりました。僕はスタメンで3年生と一緒に出場しました。3年生とバスケットをやるのも最後なので勝ちたいと思って試合に入りましたが11点差で負けてしまいました。得点を決めることができたのは楽しかったですが、負けたことは悔しかったので、次は2年生のみんなと練習を頑張って、新人戦では勝ちたいです。

○古川 咲 さん(2の1):【女子バスケットボール部】

中体連を通して感じたことや学んだことがたくさんあります。私は試合に出ましたが、あまりいいプレーをすることができませんでした。すごく悔しかったので、この悔しさをバネに、これからも練習に一生懸命取り組み、新人戦では悔いの残らないプレーができるようにしたいです。私は中体連では、最後まであきらめないことを学びました。ありきたりな感じかもしれませんが、最後まで全力でやろう、1分1秒まで全力でやろう、どれだけ点差をつけられても最後まで走りきろうとする先輩達の姿から学び、感じることができました。とてもかっこよくて真似したいなと思いました。中学校に帰ってきて、先輩方から話がありました。そこで部長から3年生についてきてくれてありがとうと言われました。そして私は、私たち後輩がついてきたくなるような先輩になろうと思いました。これからは中体連で学んだことを生かし、練習も大会も頑張っていきたいと思います。

○星野 陽奈さん(2の1):【バレーボール部】

中体連大会は3年生最後の大会なので、自分ができる応援やサポートを頑張ってきました。試合に出たときは、ボールを絶対に落とさないことと1点でも多く点数を取るという気持ちで臨みました。県中大会に行くという目標はかなえられなかったですが、次は自分たちの代になるので、今まで学んだことを生かして、県中大会出場という目標をかなえたいです。先輩達のあきらめない姿やプレーはすごく勉強になりました。大事な試合でミスしてしまったらどうしようかなどの不安がたくさんありましたが、先輩達の支えがあったからこそ最後までやり遂げることができました。

○緑川 裕也くん(2の4):【剣道部】

僕の目標は前回の大会よりも、少しでも良い結果を残すことでした。個人では去年は負けてしまいました。今回の大会では1回だけ勝利をつかむことができました。しかし校長先生からのミッションである「弱気を捨てる」ということはできたのだろうか？自分から攻めないときが多数ありました。自分の目標は達成できても「弱気を捨てる」という目標は達成できませんでした。そして、教頭先生は「適度な緊張が必要」と言っていました。久しぶりの大会だったので少し緊張しすぎてしまいました。今回の反省点はリラックスできなかったことです。次は自分に自信をもって大会に臨みたいです。

○目黒 世奈くん（2の1）：【男子卓球部】

中体連では団体戦と個人戦ダブルスに出場しました。その中で感じたことや学んだことは、「どんなときでも諦めないこと」です。ダブルスの2回戦目、1セット対1セットでファイナルセットを迎えました。9対4でリードしましたが、10対10まで相手に追いつめられたとき、「このまま負けてしまうのか」と考えてしまいました。そこで気合いが落ちてしまい、結局このセットは10対12で負けてしまいました。後になって、「最後まで全力でやりきれたらよかったのに・・・」と後悔しました。どんなに負けそうになっても、絶対に諦めずに試合をしていきたいと思いました。

○凌 りくなさん（2の1）：【女子卓球部】

今回の大会に参加して学んだことが2つあります。1つめは「協力」することです。普通のことかもしれませんが私にとってはすごく重要なことで、団体戦では3年生の先輩方と協力して県中大会に出場できるようになりました。すごく嬉しかったです。協力することの大切さを学ぶことができました。2つ目は、最後まで諦めず自分を信じることです。団体戦のダブルスでは、どんなに点差が開いても自分を信じて諦めなかったことによって、逆転勝利をすることができました。点数が開いたときにはすごく緊張しましたが、本当に諦めないでよかったなと思いました。この中体連では部員全体で負けても勝っても楽しく試合をすることができました。また、県中大会に向けて今回の試合での反省点・改善点を確認して、もっと強くなれるように練習していきたいです。

※女子ソフトテニス部は3年生のみの登録で、2年生は大会に参加していませんでした。

この大会を通して、先輩方の最後の大会に臨む意気込みや頑張り、絶対諦めない気持ち、チームワークの大切さなどを学び、また、本当の嬉しさや悔しさなども感じ取ってきたと思います。まずは先輩達への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。また、ちょうど1年後には、2年生の皆さんも最後の大会を迎えるようになります。部活動もあと1年間です。どんな終わり方をしたいのか、そのためには、普段からどのようなことを大切にして行ったらよいかを改めて考えていきましょう。これから部活動の中心は、2年生です。

学級目標を紹介します（4組）

他のクラスよりも静かなクラスで、静かすぎると団結がしにくいと考えたからです。また、黙っていても仲がよくなならないので、ドンドンにぎやかで楽しいクラスになってほしいという意味が込められています。

個人のポテンシャルを高めるのは、やはり協力し合うクラスの「団結力」だと思います。一人ひとりがそれぞれの役割を理解して素晴らしいクラスを作ってくれることを期待しています。（影山 暁 先生）



【市の給食センターより】

給食便りの名称を募集したところ、165通の応募がありました。「笑顔になる給食の時間を過ごしてほしい」と願いを込めて、小原田中の（2年4組）佐藤理央さんの **HAPPY RUNCH** を選ばせていただきました。ありがとうございました。

来週の主な行事予定

※SC・・・スクールカウンセラー

月 日	曜	時 程	給食	主 な 行 事 等	完全下校
6月 7日	月	A案 6校時	○	1 2 3 4 5 6 教育実習（～25日） 3年高校説明会⑤⑥	18：30
8日	火	A案 6校時	○	1 2 3 4 5 6 尿検査（二次）SC来校	18：30
9日	水	A案 6校時	○	1 2 3 4 5 6	18：30
10日	木	A案 6校時	○	1 2 3 4 5 6 眼科検診	18：30
11日	金	B案 5校時	○	1 2 3 4 学× ◇地区大会壮行会 漢字検定 15:30 週番引継ぎ会（昼）	18：30

※新型コロナウイルス感染症対策を引き続きお願いします。（マスク着用、毎朝の検温・体調チェック記入提出等）
※だんだんと梅雨の時期を迎えます。感染症対策の他に熱中症対策や食中毒にも注意が必要です。ご家庭でも心身の健康管理をよろしくお願いします。

※中体連県中地区大会は6／16（水）、17（木）＜2日目は、一部の競技のみ＞です。

※定期テストIは、6／22（火）です。